

普及現地情報

発信年月日：令和2年（2020年）9月30日
所属名：甲賀農産普及課
番号：C20023
部門分類：150（野菜）
発信者名：井上

コロナ禍に対応した「^{しのぶねぎ}忍葱」の栽培指導の取組について

「忍葱」の栽培指導において、3密を避けた現地研修会と栽培管理情報の提供を組み合わせて対応した結果、11月の出荷にむけて、土寄せ等の作業が順調に進められています。

新型コロナウイルスの感染拡大により、3月以後さまざまな場面で「自粛」が行われ緊急事態解除宣言が出されたものの各地域の感染動向を見るとまだまだ予断を許さない状況です。

当管内においてもその影響は大きくJAと連携し推進を図っている「忍葱」では、毎年であれば集合研修会を開催し、併せて定期的に現地研修会を実施し品質と収量の向上を図る指導体制でした。

しかし今年は、コロナ禍に対応した指導方法について協議し、3密（密閉、密集、密接）を控え、ソーシャルディスタンスに配慮した現地研修会の実施と、今まで以上に指導機関による栽培圃場の現地巡回を強化し、より細やかな情報を記載した「当月の栽培管理情報」を毎月発信することで生産者を集め密な状態を作る研修会を行わなくても「忍葱」の生育状況に合わせた適正な栽培管理が行われるよう対応しました。

結果、6月には無事作付面積約5haの定植が完了し、7月には長雨に対応した生育状況に合わせた適正な栽培管理が行われ、現在仕上げ作業として本格的に土寄せ作業が進行中です。順調に進めば11月中旬頃から市場出荷の他、量販店、JA直売所等で販売される予定です。

当課では、コロナ禍においても「忍葱」の品質と収量の向上を図るため、JAと連携して引き続き栽培管理について生産者を支援していきます。



栽培管理について指導



土寄せ作業が実施されたほ場